

| 商品名 | 分類 | 投与方法、溶解法 | 医療機器 | 重大な副作用 | リスク管理 |
|--|----------------------|--|----------------------|--|---|
| アシクロビル注 | 速度 溶解 | 1時間以上かけて投与 1Aあたり生食100mLに溶解（ソリタT1号3号での溶解も可）脳炎・脳症の場合は1Aあたり50mLへの溶解可 | | 痙攣 せん妄 血管痛 | |
| アセリオ注 | 速度 | 15分間で投与（有効血中濃度に到達するため） 体重50kg未満は減量調整 | | | |
| 【 <u>危</u> 】アドレナリン注0.1%シリンジ（1mg/1ml/本） | 注射用 カテコラミン | 心肺停止時：1mL静注 | モニター | 呼吸困難 心停止 | 同成分のボスミン注あり |
| アミカシン注 | 速度 | 30分かけて投与 | | めまい 聴力障害 腎機能障害 | |
| 【 <u>毒</u> 】アムピゾーム注 | 溶解 速度 | 1Vあたり注射用水12mlで溶解し、5%ブドウ糖液で希釈（生食での溶解不可）希釈後の溶液は0.2-2mg/mLとする。添付のフィルターを使用して2時間かけて投与 | | 発熱 悪心 骨痛 | 施設・帳簿管理 冷所保管のため携帯金庫保管 |
| アルガトロン注（10mg/20mL） | 速度 | はじめの2日間は6Aを200mL以上の輸液に希釈し、24時間持続投与 その後の5日間は1Aを200mL以上の輸液に希釈し、1回3時間かけて点滴。1日2回12時間毎 | | 出血 肝機能障害 | |
| 【 <u>危</u> 】アミオダロン注（150mg/3mL） | 不整脈用剤 | 疾患によって投与方法異なる 払い出し時に投与方法の用紙を添付 | ポンプ モニター | 血圧低下 徐脈 | 投与方法薬剤貼付の用紙参照 |
| 【 <u>危</u> 】インスリン製剤（ノボリンR） | インスリン 製剤 | 専用シリンジを用いる（ロードース 皮下注用：30G×8mm、 混注用：29G×12.7mm） ※mL表示使用不可 | 持続の場合は ポンプ | 低血糖 | 混注時は薬剤師呼び 病棟在庫1本まで |
| イントラリボス輸液 | 速度 | 3-4時間以上かけて投与（0.1g/kg/h）が望ましい（早落ちで血中脂質増加、吸収低下） | | | 体重別推奨一覧あり ※50kgは4時間、40kgは5時間 |
| 【 <u>危</u> 】（毒）エスラックス注（50mg/5mL） | 麻酔用 筋弛緩薬 | 挿管量0.6mg/kg静注 持続注入により投与する場合、7μg/kg/分で開始 | ポンプ | 横紋筋融解症 気管支痙攣 | 施設・帳簿管理 冷所保管のため携帯金庫保管 【向精神薬・危険薬】注射箋を用いて当日払い出し |
| エリスロシン注 | 速度 溶解 | 2時間以上かけて投与 ①1Vに注射用水10mLを添加（生食で塩析） ② ①の溶液を、5%ブドウ糖液又は生食で希釈（注射用水不可） | | 不整脈 | |
| 【 <u>危</u> 】塩酸ドパミン注キット600（600mg/200mL） | 注射用カテ コラミン | 20μg/kg/分以下の速度で投与 | ポンプ モニター | 血管外漏出 不整脈 麻痺性イレウス | |
| オザグレル注 | 速度 | 2時間以上かけて投与 | | | |
| オメプラゾール注 | 溶解 | 生食又は5%ブドウ糖液で希釈 ※生食・ブドウ糖以外で白濁・変質 | | | |
| 【 <u>危</u> 】ガベキサートメシル酸塩 | 脾臓 ホルモン薬 | 2.5mg/kg/h以下の速度で投与 末梢投与：1000mgに対し補液500mL以上で希釈 | ポンプ | 血管外漏出 静脈炎 血管炎 血圧低下 | |
| 【 <u>毒</u> 】ガンシクロビル点滴静注用 | 濃度 速度 | 1Vを注射用水10mLに溶解し、投与量に相当する量を100mLの補液で溶解する（希釈後10mg/mLを超えないこと）1時間以上かけて投与 要 陰圧操作 | | 骨髄抑制 精子形成機能障害 | 曝露予防（薬剤貼付の用紙参照） 施設管理 【向精神薬・危険薬】注射箋を用いて当日払い出し |
| クリンダマイシン注 | 速度 | 100mL以上の生食又は5%ブドウ糖で希釈し、30分-1時間以上かけて投与（急速静注で心停止のおそれ） | | | |
| 【 <u>危</u> 】K.C.L注キット（20mEq/20mL） | 注射用高濃度 カリウム 製剤 | 40mEq/Lに希釈、8mL/分以下（20mEq/h以下）の速度で点滴 混注は薬剤師とWチェック | ポンプ | 不整脈 心停止 | 病棟常備なし、薬局在庫 混注時は薬剤師呼び 輸液に注意喚起添付 |
| 【 <u>危</u> 】ジギラノゲン注（0.4mg/2mL） | ジギタリス 製剤 | 生食10~20mL+1Aを5分で静注 | モニター | 高度徐脈 不整脈 | |
| 【 <u>危</u> 】（毒）スキサメトニウム注（40mg/2mL） | 麻酔用 筋弛緩薬 | 間欠投与：1回10~60mg 持続点滴：2.5mg/分 静注不可の場合：2~3mg/kg筋注 | ポンプ | 心停止 呼吸抑制 | 手術室のみ |
| セレネース注 | 速度 | 筋肉注射もしくは生食に溶解し30分かけて点滴注射 ワンショット禁止 | | 心房細動、心室頻拍 錐体外路症状 | 注射薬常備に注意POP設置 |
| ソセゴン注射液 | 習慣性 医薬品 | 麻薬との併用で麻薬の作用に拮抗（効果減少） | | 過鎮静 薬物依存性 | 施設・帳簿管理 【向精神薬・危険薬】注射箋を用いて当日払い出し |
| ゾレドロン酸注 | 速度 | 15分以上かけて投与 投与間隔に注意 骨メタ：3-4週間間隔 高Ca血症：最低1週間空ける 腎機能低下患者には用量調整 | | 腎機能障害 心不全 低Ca血症 | 用量調整は薬剤貼付の用紙参照 |
| ダブトマイシン注 | 溶解 | ①1Vにつき7mLの生食で溶解後、10分間静置 ②必要量を生食で希釈、30分かけて投与（ブドウ糖を含む希釈液で力価低下） | | CK上昇 腎機能障害 | |
| チラーチン注 | 溶解 速度 | 必ず1Aを生食100mLに希釈し、そこから必要量ををはかり とる 調整後は2時間以内に投与を完了する | | 狭心症 肝機能障害 | 手順書あり |
| テイコブラニン注 | 速度 | 30分以上かけて投与 | | レッドネック症候群（紅潮、血圧低下） 腎機能障害 めまい 聴力障害 | |
| 【 <u>危</u> 】1%ディプリバン注 プロポフォール静注 | 習慣性 医薬品 | 原液で使用 2mL/hから開始し適宜増量、max 15mL/h | 呼吸器管理 ポンプ モニター | 血圧低下 舌根沈下 呼吸抑制 | 施設・帳簿管理 【向精神薬・危険薬】注射箋を用いて当日払い出し |
| 【 <u>危</u> 】テクスメトミジン注シリンジ（200μg/50mL） | 習慣性 医薬品 | 2mL/hから開始し適宜増量、最大10mL/h | 呼吸器管理 ポンプ早送り不可 | 鎮静状態 徐脈 血圧低下 | 施設・帳簿管理 【向精神薬・危険薬】注射箋を用いて当日払い出し |
| 【 <u>危</u> 】ドフタミン注キット（600mg/200mL） | 注射用カテ コラミン | 20μg/kg/分以下の速度で投与 | ポンプ モニター | 徐脈 | |
| ナファモスタット注 | 速度 溶解 | 0.2mg/kg/時以下 ①10mgに5%ブドウ糖または注射用水を1mL以上加え溶解（直接生食で白濁・析出） ② ①の溶液を5%ブドウ糖又は生食で希釈 点滴静注：5%ブドウ糖液500mLに溶解 持続静注：5%ブドウ糖液1000mLに溶解 体外循環時：生食500mLに溶解 | | 静脈炎、血管炎 血圧低下 | |

| 商品名 | 分類 | 投与方法、溶解法 | 医療機器 | 重大な副作用 | リスク管理 |
|--------------------------------------|--------------|---|--------------|--|--|
| 【危】ネオフィリン注 (250mg/10mL) | テオフィリン製剤 | 30分以上かけて点滴投与 | ポンプ推奨 | 悪心嘔吐 痙攣 意識障害 | |
| 【危】ノルアドリナリン注 (1mg/1mL) | 注射用カテコラミン | 中心静脈：5A+生食45mL (5mg/50mL) 0.05~0.3 μg/kg/分 末梢：1A+生食49mL (1mg/50mL) 0.05~0.1 μg/kg/分 | ポンプ モニター | 血管外漏出 徐脈 | |
| バクタミン注 | 速度 溶解 | 1-2時間以上かけて投与 1Aあたり5%ブドウ糖液125mLで希釈し、6時間以内に使用 水分制限がある患者は75mLで希釈し、2時間以内に使用 | | 静脈炎、血管炎 血圧低下 ショック 皮膚障害 腎機能障害 血液障害 | |
| バンコマイシン注 | 速度 | 1回あたり2時間以上かけて投与 | | レッドネック症候群 (紅潮、血圧低下) めまい 聴力障害 腎機能障害 | |
| ハンブ注 (カルベリチド) | 溶解 | 1Vを注射用水5mLに溶解し生食又は5%ブドウ糖液で希釈 1Vあたり注射用水5mLで溶解後、希釈せずにシリンジポンプで投与することも可(生食で塩析) ※注射用水100mL程度に溶解し、そのまま使用する場合もあり | | | |
| ビムバット点滴静注 | 速度 | 30-60分かけて投与 | | 房室ブロック 徐脈 失神 | |
| ブイフェンド (ポリコナゾール) | 溶解 | ①1Vを注射用水19mLで溶解(濃度10mg/mL、溶液量20mL) ②必要量を生食で希釈し、点滴静注 | | 視覚障害 肝機能障害 | |
| フェジン注 | 溶解 | 5%ブドウ糖液で5~10倍に希釈 2分以上かけて静脈内注射(ブドウ糖以外の希釈で悪心・嘔吐) | | | |
| ペナンバックス注 (ペンタミジンイセチオン酸塩) | 溶解 | 点滴：注射用水3-5mL溶解後、ブドウ糖又は生食50-250mLに希釈 1-2時間で点滴静注 (直接生食、ブドウ糖液で溶解すると懸濁・固化する恐れあり) 吸入：1V(300mg)を注射用水5-6mL(医師による増減あり)で希釈しネブライザーで30分かけて月1回吸入 | | 低血圧 不整脈 低血糖 気管支痙攣(吸入) | 吸入による気管支痙攣に対してサルタノールを予防投与 |
| ペニシリンGカリウム注 | 溶解 速度 | 投与速度はカリウム製剤の投与速度に準ずる 100万単位あたりK1.53mEq含有するため希釈は40mEq/Lに準ずる。 (例)400万単位あたり生食または5%ブドウ糖液200mL以上で溶解 | | 不整脈 心停止 血管痛 | |
| 【危】ヘパリンNa注 (5000U/5mL) | 注射用血液凝固阻止薬 | 整形：生食250mL+3A 10mL/hスタート 外科：生食90mL+2A 6mL/hスタート 内科：ソリタT3補液500mL +男性15000単位、女性12000単位 22mL/h(希釈液は生食、5%ブドウ糖液、ソリタT1も可。希釈量は患者の病態に応じ100-500mLで設定可) | ポンプ | 出血 肝機能障害 | (特)プロタミン APTTの値によって速度調整あり(内科：APTTを投与前の1.5倍(45程度)になるよう調整。) |
| ホストイン注 | 速度 | 初回投与速度：3mg/kg/分又は150mg/分 維持投与速度：1mg/kg/分又は75mg/分 (いずれか低い方を超えない) | | 心停止 血圧低下 呼吸抑制 | |
| ホスホマイシン注 | 溶解 | 注射用水、またはブドウ糖液に溶解(ナトリウム含量が多いので生食は避ける) | | | |
| 【危】ポスミン注(1mg/mL) | 注射用カテコラミン | ●アナフィラキシーショック 13歳以上：0.5mL 6-12歳：0.3mL 1-5歳：0.15mL 体重10kg以下：0.01mL/kg 筋注 ●喘息重症発作：0.1-0.3mL皮下注 | モニター | 呼吸困難 心停止 | 同成分のアドレナリン注シリンジあり |
| 【危】(向)ミダゾラム注射液 (10mg/2mL) | 向精神薬 | 5A+生食40mL(1mg/mL)を2mL/hから開始し 適宜増量 最大10mL/h程度 | 呼吸器管理 ポンプ | 鎮静状態 | 施設・帳簿管理 【向精神薬・危険薬】注射薬を用いて当日払い出し (特)アネキセート |
| メロペナム注 | 速度 溶解 | 30分-1時間以上かけて投与 ブドウ糖液での溶解で血圧低下 | | 痙攣 腎機能障害 | |
| 【危】ラボナール注射用0.3g | 習慣性医薬品 | 短時間麻酔：最初2-3mlを10~15秒の速度で投与。応答がなくなるまで追加2~3mlを同速度で注入。 | ポンプ モニター | 鎮静状態 血管外漏出 呼吸停止 | OPE・産婦人科のみ 施設・帳簿管理 【向精神薬・危険薬】注射薬を用いて当日払い出し |
| リコモジュリン注(12,800U) (トロンボモデュリンアルファ) | 溶解 | ①1Vを2mL生食で溶解。 ②①の溶液から、体重・腎機能別必要量を取り、生食100mLに希釈(換算表あり) 30分かけて投与 | | | |
| 【危】リスモダンP静注 (50mg/5mL) | 不整脈用剤 | 生食10-20mL+1Aを5分で静注 | ポンプ モニター | 心停止 低血糖 | |
| 【危】リドカイン注 (200mg/200mL) | 不整脈用剤 | 0.4mL/分以下の速度で投与 | ポンプ モニター | 心停止 不整脈 | |
| 【危】リドカイン静注用2%シリンジ (100mg/5mL) | 不整脈用剤 | 1回50-100mg、1~2分間で緩徐に静注 | モニター | 血圧下降 ショック | |
| 【危】リン酸2カリウム注キット (20mEq/20ml) | 注射用高濃度カリウム製剤 | 40mEq/Lに希釈、8mL以下(20mEq/mL以下の速度)で点滴(カルシウム、マグネシウムを含む輸液での希釈不可) 必ずは薬剤師とWチェック | ポンプ | 不整脈 心停止 | 病棟常備なし、薬局在庫 混注時は薬剤師呼び出し 輸液に注意喚起添付 |
| レベチラセタム点滴静注 (500mg/5mL) | 速度 | 15分かけて投与 | | 肝機能障害 | |
| レボフロキサシン注 | 速度 | 1時間以上かけて投与 | | 短時間投与で血圧低下 掻痒感 | |